

事業の目的 現状の課題 市民(地域)のニーズ 必要性		<p>【目的】 1. 多世代が集える「居場所」を創造することで、住民が安心して暮らせるまちづくりを進める。 2. 高齢化・独居老人の増加に伴い、住民の困り事を支える「お互い様活動」を推進</p> <p>【課題】 発足から2年半が経過し、「居場所づくり」では、新たな参加者を加える工夫が必要。 「子供対策」はラジオ体操、公園の清掃活動、料理教室、物づくりなど日常のなんでもない事に、共に時間を共有する。</p> <p>【市民(地域)のニーズ】 高齢者の健康維持や、日常の困り事の支援は不可欠。 子供対策は、団地住民が皆で育てるといった期待に応え、時間を共有する。</p>													
事業内容		<p>主な内容 実効性</p> <p>第二土曜「歌声そよ風・茶話会（参加者40名）」第四土曜「健康体操・茶話会（参加者30名）」 - 第二金曜の手芸教室は、年間計画を作成し、ペーパークラフト等充実、健康体操は、人気が高い。 新たに、木工教室、園芸教室を加え、指導者の発掘と新たな参加者を増加させる。 - カラオケ教室は、DVDカラオケセット等充実させ15名とする。</p>													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>予定日</th><th>予定内容</th><th>予定会場</th><th>参加者数見込</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月 4月～3月</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 協力会員の確認 茶話会2回/月 (毎月第二土曜) 歌声そよ風、茶話会 (第四土曜) 健康体操、茶話会 手芸教室1回/月 (毎月第二金曜) 手芸、健康麻雀、囲碁、将棋 新規 木工教室、園芸教室開催 カラオケ教室1回/月 (毎月第三金曜) 公園の清掃活動 定例役員会の開催 総会 </td><td>すべての活動が 団地公民館</td><td>そよ風 40名/回 健康体操 30名/回 手芸教室 15人/回 健康麻雀 10人/回 カラオケ 10人/回 木工工作教室 10人 園芸教室 10人/人 子供対策 30名/回</td></tr> <tr> <td>4、7、11、2月 3月</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込	4月 4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 協力会員の確認 茶話会2回/月 (毎月第二土曜) 歌声そよ風、茶話会 (第四土曜) 健康体操、茶話会 手芸教室1回/月 (毎月第二金曜) 手芸、健康麻雀、囲碁、将棋 新規 木工教室、園芸教室開催 カラオケ教室1回/月 (毎月第三金曜) 公園の清掃活動 定例役員会の開催 総会 	すべての活動が 団地公民館	そよ風 40名/回 健康体操 30名/回 手芸教室 15人/回 健康麻雀 10人/回 カラオケ 10人/回 木工工作教室 10人 園芸教室 10人/人 子供対策 30名/回	4、7、11、2月 3月	
予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込												
4月 4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 協力会員の確認 茶話会2回/月 (毎月第二土曜) 歌声そよ風、茶話会 (第四土曜) 健康体操、茶話会 手芸教室1回/月 (毎月第二金曜) 手芸、健康麻雀、囲碁、将棋 新規 木工教室、園芸教室開催 カラオケ教室1回/月 (毎月第三金曜) 公園の清掃活動 定例役員会の開催 総会 	すべての活動が 団地公民館	そよ風 40名/回 健康体操 30名/回 手芸教室 15人/回 健康麻雀 10人/回 カラオケ 10人/回 木工工作教室 10人 園芸教室 10人/人 子供対策 30名/回												
4、7、11、2月 3月															
<p>実施体制① (実施メンバー) 実効性</p> <p>*天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」役員21人 協力会員（役員除く）57人 *団地自治会幹部役員（自治会長、各組長）は、顧問として支援体制を確立している。（アクティー掲載）</p>															
<p>実施体制② (団体の特性) 専門性</p> <p>*天伯団地住民で結成 *自治会とのきめ細かな連携を大事に進めている。（ひだまりの会と常に密着し、自治会より挨拶がある） *居場所づくり、お互いさま活動を実施するのに協力会員のできることを持ち寄りその能力をフル活用</p>															
<p>目新しさ ユニークさ 先駆性</p>		<p>*H28年～H29にかけ有事の際の安否確認旗（黄色）を320本製作完了、2年（H29～H30）に亘る訓練を実施、他校区から問い合わせや訪問が相次いだ。ひだまりの会が作成し、防災会が訓練を実施し、自治会が市民全体にPRした。住民もこの流れを支持している。助け合いの街づくりに貢献した。</p>													
<p>市民(地域)への効果 公益性</p>		<p>*この活動は、高齢者が自宅に引き込もりにならないようにし認知症対策、糖尿病対策につながる。 *天伯校区全体に水平展開が出来る足掛かりになり、新規に他町自治会が居場所づくりに着手した。 *他校区で、支え合い活動を立ち上げようとしているグループを受け入れ推進役を果たしている。（3ヶ所） *団地全体で元氣がでている。挨拶運動も手を振りながら挨拶する高齢者が確実に増えている。校区が団地の活動の刺激を受け元気がでている。</p>													
<p>今後の取組 継続性</p>		<p>*市の補助金が4年目以降なくなるため、今年度の活動は、重要な年になるよう充実させ、諸準備を怠らないようにする。 *自治会の補助金は、今後とも5万円を維持する。そのため寄付金の増額、参加者が多く期待できる活動内容の見直しで、参加費収入の拡大を図る。 *新規に、園芸教室、木工教室開催、（グリーンベルトの通路用に木製プランターを製作20ヶ）</p>													